時機到来セルヲ以テ二月十五日午前十時ヨリ中央委員會ニ之ヲ議決シ即チ午前部長說ニ全然賛成ノ居ト會見ス要點ヲ決定スル處ノ四項ハ次ノ如クナル「當局者的四項ハ果シテ五月中旬ニ於テハ（十）商工會議ヲ經テ各隊員ニ對シ新方ヨリ與ヘラレベキナリアルラシ

一、見習職工勞働組合加入禁止ニ關スル件、

毎年春季ニ見習職工ノ入ルヤ他組合ハ之ヲ見做シ宣傳用ニ依リ學修セシメツヽアル者ニ實ニ根據シテ之レヲ勞働組合ニ主張シ從ツテ從來ニ加ヘテ勞働組合ヲ主トシテ出ル運動ニ抵ル抗爭事モアリシ且ツ學校時代以來斯ル運動ニ加ハルモノハ修業ノ方針上ニ弊害アリ就中思想上ノ影響ニ就テハ最モ憂慮ニ堪ヘザル處多キニ依リ之ニ加入ヲ禁止スルコト意見ナリトアリ

聯盟ハ之ニ對シ從來修業年見習工トノ區別ヲ定メ上ニ於テハ一般職工ト同樣ニ工場規則ノ適用ヲ受ケ雇傭契約ニ基キテ賃金勞働ノ報酬ヲ受ケツヽアル以上ハ勞働者トシテ亦當然首肯スルヲ得ベク且ツ現在ノ見習者ノ實情ヲ斷シテ完全ナル保護者タル責任ヲ負ハザルモノハ凡テ組合加入ヲ禁止スルコトハ決シテ思想善導ノ唯一策ニアラザルノミナラズ穩健ナル聯盟ヘノ加入ヲ禁止スルコトハ却テ左傾的ナル他組合ノ侵入ノ機ヲ與フル因トナル可能性ナシトセズ飽ク迄モ加入禁止ノ解除ヲ求メントスル意見ノ一致ヲ見タルヲ以テ右要求ハ撤回セリ

二、工場規則第二十八條第三十二條慰勞金ニ關スル條項改定上申アリタル時ニ關スル件

本則制定ノ主旨タル適用範圍ニ關シ協同當局ノ意ヲ